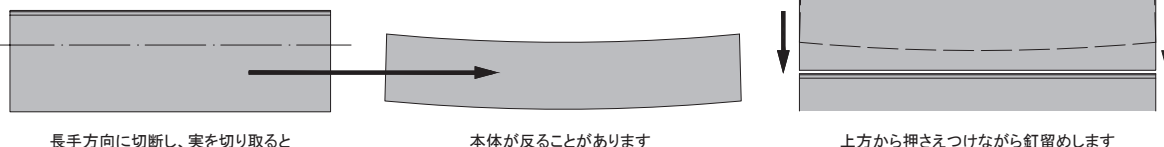


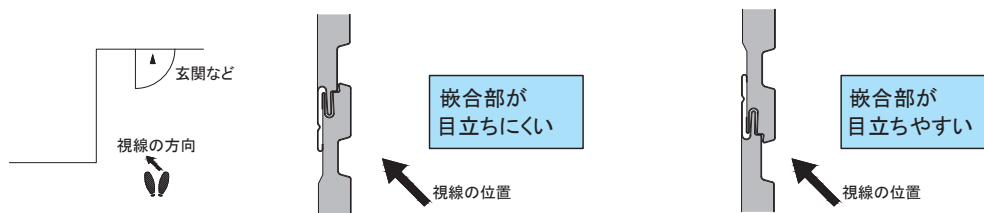
## 6 センターサイディングの重ね張り工法

### 6-2 施工上の注意事項

- 横張り時、軒天部で最上段のセンターサイディングは軒天までの寸法にあわせて長手方向に切断し、一旦見切縁などの奥(軒天側)まで差し込んでから、下段の本体に嵌合させます。
- 横張り時の軒天部など、センターサイディングを長手方向に切断すると本体が反る場合があります。施工の際は、本体の上部から下部へと押さえつけながら、胴縁に表面から釘留めしてください。釘頭は補修塗料で補修してください。



- 縦張り時、張り始めと張り終わりで本体の倒れを防止するため、必要に応じて先付け付属部材と本体裏面との間に調整材(合板などを小割りにして現地加工したもの)を入れます。
- 縦張り時、張り始めと張り終わりを胴縁に表面から釘留めし、釘頭を補修塗料で補修してください。
- NS型、ST型を縦張りで施工する場合、柄と嵌合の特性上見る方向によって目地部の目立ち方が異なります。張り始めの方向にご注意ください。



#### 7) 補修について

- 表面の洗浄などメンテナンスについては、最新の「NICHIIA金属製外壁材・屋根材総合カタログ」をご参照ください。表面へのキズを防止するため、足場を撤去する際は十分にご注意ください。

#### 8) 補修塗装手順

センターサイディングには専用の補修塗料を用意していますが、適切な補修がなされないと色違いなどの原因となるおそれがあります。使用に際しては下記に注意してください。

##### ①天候確認

- 補修の前日および当日が降雨・降雪の場合は補修塗装を行わないでください。
- 施工時の気温が5℃以上の時に行ってください。

##### ②色調の確認

- 色が均一になるまで十分に振った後、端材などに試し塗りをして色調を確認してください。

##### ③補修面の処理

- 汚れ、埃、水分などを除去してください。

##### ④補修塗装

- 補修塗料には攪拌球がセットされています。カチカチと音がするまでよく振ってからご使用ください。

※補修塗料の中には攪拌球が入っていないものもあります。

- 必要以上に塗り広げないように、かつ、厚く塗らないようにしてください。

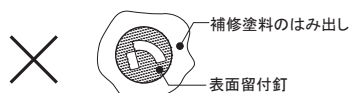
※補修塗料は色調をセンターサイディングに合わせてありますが、塗布量・塗布方法・艶などにより補修箇所が目立つ場合がありますので、塗布面積は必要最小限としてください。

塗布面積が大きくなると違和感が生じるおそれがあります。

補修塗料の蓋中央にある色見本と同色になるまで十分に振り、必ず端材などに試し塗りをしてください。特に多色品は塗布する箇所に近い色を選定してください。

#### 9) 釘頭の補修塗装

センターサイディング全ての釘頭・ビス頭の補修は、目立つ箇所のみとし、周辺に塗り広げないよう最小限に塗布します。



**禁止**

釘頭より広く塗り広げたり、厚く塗布しないでください。広げたり、塗布量が多くても、施工途中は足場やネットがあり暗いのでわかりにくい場合があります。足場などが外れると外観上かなり目立つ場合があります。丁寧に塗布してください！